

山田愛川 やまがわ 新聞記者。萬延元年五月、千八百廿年藝國生れ、明治  
二十八年五月、千七百廿年（一八六〇—一九〇五）。本名一郎。筆名うねう、う  
くも、かゞし、かゞし△一、九十九栗概士、九十六峰外史、大和撫子、  
天涯無二物主人、如雲、山一生、山田、山田生、愛川居士、春風、紫  
山子、紫山子翁、洞巖、白雲居士、白雲生、柳聲、秋聲、秋風、突々  
上人、豆眼、霜岳、霜岳居士、顧蝶、鵲聲、鶯聲等。

著書『愛川遺稿』（大正四年、八月五日小林堅二編刊）。